

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL & FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして！

2007.2.25 No.457 (毎月2回発行)

温泉問題を考える会の「事務監査請求」

ずっしり署名簿5,855名分を選挙管理委員会に提出!

2月19日

677冊



渡邊選挙管理委員長

竹之内世話人代表

市民が自ら意義を訴えて、市民のみならずから署名をいただいたもの。大変意味のある署名数です。しっかりと受けとめてほしい！

事務監査請求は、あきる野市で初めてのこと。地方自治法にもとづいて審査いたします…

2月19日午前10時、「温泉問題を考える会」の代表者らは、1月9日から2月6日まで取り組み、集められた温泉建設の「事務監査請求」署名簿をあきる野市の選挙管理委員会に提出しました。その数、5千855名。これは、法定必要数の約1千300をはるかに上回り、目標としていた3千名の2倍に迫る署名数です。それだけ、この問題に対する市民の不安と怒りが大きいことを示しています。

提出後の記者会見での

竹之内世話人代表の報告より

短期間でしたが、署名数は5千855筆に達しました。これから選挙管理委員会は20日間かけて、審査します。審査の後、請求代表者に結果が報告され、私達がこれを持って監査委員会に監査請求を出すこととなります。

この事務監査請求は市民の持つ直接請求権の権利の一つです。選挙とは違って、自らが宣伝カーをだし、ピラを配って事務監査請求の意義を訴えて署名を呼びかけてきたわけですから、署名をすすめる責任者の数は260名に達しました。はじめには130名でしたから、この期間に2倍になりました。

この署名は、捺印と生年月日等々の個人情報明らかにしながら署名しなければならぬわけですから、大変な重みのあるものだと思います。監査委員会はこの重みをしっかりと受けとめて、この温泉施設に対する市民の疑問に答

えてもらいたいと思います。署名をすすめてみて、思った以上に市民の反応がありました。この運動の中で、あきる野市が負担金も含めると1千027億円もの借金があったことを知る。そういう中でさらに25億円もの投資、しかも赤字必至の温泉施設をなぜ建設するのかわからない市民の不安や怒りがこの署名には込められているんじゃないかと思

います。また、署名をすすめる中で260名の受任者の方々に、市民からのさまざまなご意見が寄せられました。直接、世話人会にも何人もの方からご意見と提案を頂きました。

監査委員会の結果が出るのはまだまだ時間がかかりますが、これ待つので、温泉建設の問題点をさらに見ていきたいと思

います。運営が始まって、どのようになっているか



「うちの母、いつも仕事が忙しくて娘の私も孫もかまってくれない」とぼやく母仲間。「でも、先日体調を崩してたら、珍しく母から電話があって、元気?。て。だめなのって言ったら、わかった。て、たくさん食料持って来てくれたの。」
普段は素っ気ないぐらいでも、必要なときはちゃんとわかるなんてすばらしい!と、みんなで感心、絶賛しました。

見れば口も出したくなりますが、見なければ待つてあげられる。

でもすっかり背を向けてもいけない。横目?薄目?耳だけ?うーんむずかしい!!
母道・親道の修行は果てしなくつづくのです…。

たばた あずみ
連絡先は☎550-6674

野良望

昨年12月、母を亡くした。百三歳終戦後間なく夫を亡くし、女手一つで七人の子を育てた。九十歳を過ぎても共産党を支持、近くの共産党員宅にもよくおじゃましていた▼四男の自分は遠くの大学に入った後、一緒に暮らしたことはない。老後の世話も姉に任せっきり。親孝行をした覚えもない。ここ数年はベッドで眠った状態で、訪ねていっても反応なし。なおさら悲しさがつのる。そんなとき「千の風になつて」を耳にした。▼「お墓」が出てくる変わった歌だと思ったが、いわさきちひろの絵を配した本も出、NHK紅白でも秋川雅史がテノールを響かせた。「そこ(お墓)に眠ってなんかいません。千の風になつて大きな空を吹き渡っています」という▼一月に納骨にまた九州へ。式が終わったとき、母もお墓になんかなくなって千の風になつて大空を吹き渡っている実感。そして自分に共産党さんがんばつてとよびかける声が聞こえた気がした。それにくたえることがいまでもできる

裏面で活動参加のみなさんの談話と2月27日の「経験交流懇親会」のお知らせがあります。



選管に提出後行われた記者会見で報告をする竹之内温泉問題を考える会世話人代表。

